

C-49 簡易化による被服構成の研究 —羽織・コートの衿肩明について— (第14報)
島根県立女短大 ○野津哲子 岡 綾子

目的 羽織・コートの着装美は衿肩まわりの線が左右すると思われる。そこで第10報で最もよいと考えられる長着の衿肩明の作図法を報告したので、ここでは長着を基準とした、羽織・コートの衿肩明と衿の丸みについて研究したので報告する。

方法 本学で参考としている指導書を調査した結果、衿肩まわり、丸みを2cmの4分円とするというのが96%で最も多かったので、これと私どもの研究したものを着装実験によって比較検討した。

結果 肩まわり・丸みの小さいものは肩まわりにそぐわず、長着の衿から離れようとする傾向が強い。したがって着装美がうしなわれる。
その点私どもの研究したものは着装面からも自然で着心地もよい結果が得られた。